



学校通信

令和5年度 第8号
令和5年 11月30日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

子供たちからもらう・伝わる元気

校長 岡部 良美

10月半ばから1年生が下校前に、ランドセルを背負って校長室にくることが多くなりました。校長室に直接入ってくるのではないのですが校長室前の廊下に集まり、『よいところ見つけ名人』の取組の一つである、『ぼかぼかことば（できごと）（メッセージ）』、『はっけん、じぶんのキラリ』カードを書いているのです。いろいろと会話しながら、今日一日のことをお互いに共有したり振り返ったりして、カードに書いています。そして『こころポスト』に入れて帰ります。他学年の子供たちも書いている姿があり、校長室にしながら、また夕方にポストからカードを取り出して子供の発見を微笑んで読みながら、開三小の子供の温かな心、豊かな感性、安心感に支えられてみんな一緒に成長していることを感じています。【11月28日現在 628カード】

カードに書かれている主な内容です。 ※<学年>書いた子供の学年です。

『ぼかぼかことば（できごと）（メッセージ）』

- ◎ 友達からものを借りたり、困っている時に助けてもらったりして、友達の優しさを感じたこと、心がぼかぼかしたこと。<全学年>
- ◎ 廊下を走っている人に、廊下は歩くよと注意していたこと。<全学年>
- ◎ 図書室で使った椅子をきれいに整えていたこと。<5年>
- ◎ 学習の後片付けがあつという間に終わったなど教職のよさ。<2年>
- ◎ 担任の先生のよいところ。いつも笑顔、字が上手、教え方など。<全学年>



『はっけん、じぶんのキラリ』

- ◎ できることが増えたこと、上達したこと。鉄棒、跳び箱運動など。<全学年>
- ◎ 次に使う人のことを考えて行動したこと。<2年、3年、4年>
- ◎ 上級生の姿を見て、まねをしてみてもうまくいったこと。<4年、5年>
- ◎ 友達が困っている時に、助けたこと。<1年、2年、3年、4年>
- ◎ 自分たちで、学校の活動（三桜絆まつり）を復活させたこと。<6年>

保護者や地域のみなさんもお来校時にカードを読まれ、子供たちの温かなつながり、自他のよさを見取る意識醸成、発信能力の伸長を感じているのではないのでしょうか。

さて、11月17日に、4年ぶりの開三交流祭り、名称を『三桜絆まつり』と変えて開催しました。6年の子供たちが夏休み前に、復活させたいと私に相談にきて、企画・練り上げを繰り返して開いた全校児童による祭です。お店担当とお客に分かれました。4、5、6年生は両方の活動を行いました。お客として楽しむより、お店担当としてお客が喜ぶ姿に達成感を感じていました。1、2、3年生は楽しむことに加え、上級生への感謝、来年への期待を抱きました。一体感が溢れる開三小です。12月のわくわく作文では、『三桜絆まつり』が題材になりますのでご覧ください。

子供たちに、所属感・存在感・充実感・自己肯定感・共感力が育っています。